

デジタル教科書・図書の製作
周知のボランティア
その取り組みと課題

世田谷マルチメディアDAISYの会
代表 板橋友紀子

Today's Focus



01

世田谷マルチメディア
DAISYの会の活動

02

世田谷区への周知活動
と現状

03

ボランティアとは

04

賛同者を得る為に

05

ボランティア団体が
直面している2つの問題

06

マルチメディアダイジー
教科書の重要性

07

持続可能なサポー
トの為に

08

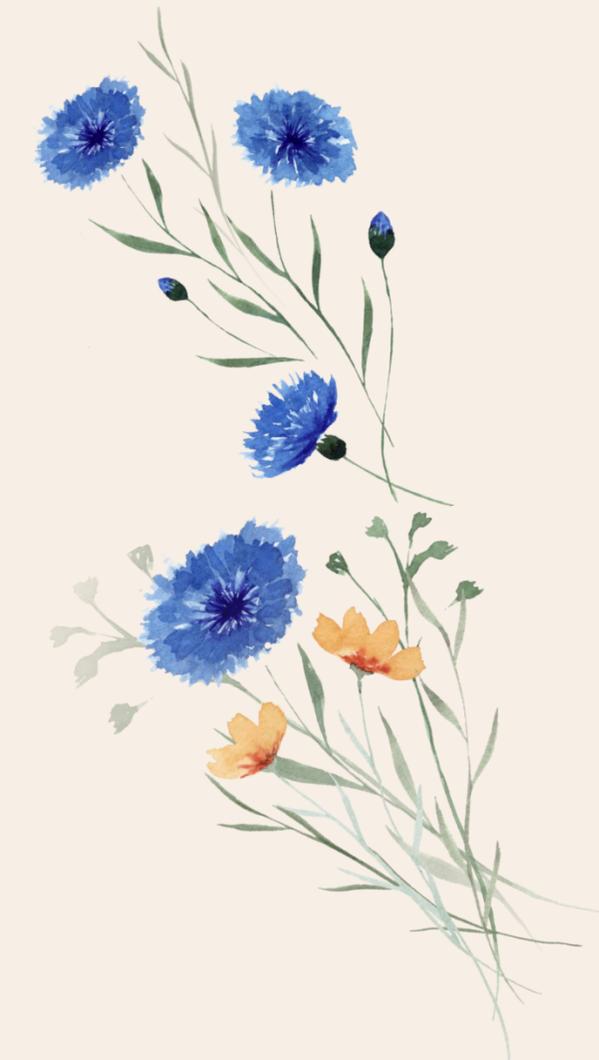
児童生徒の適正な評価

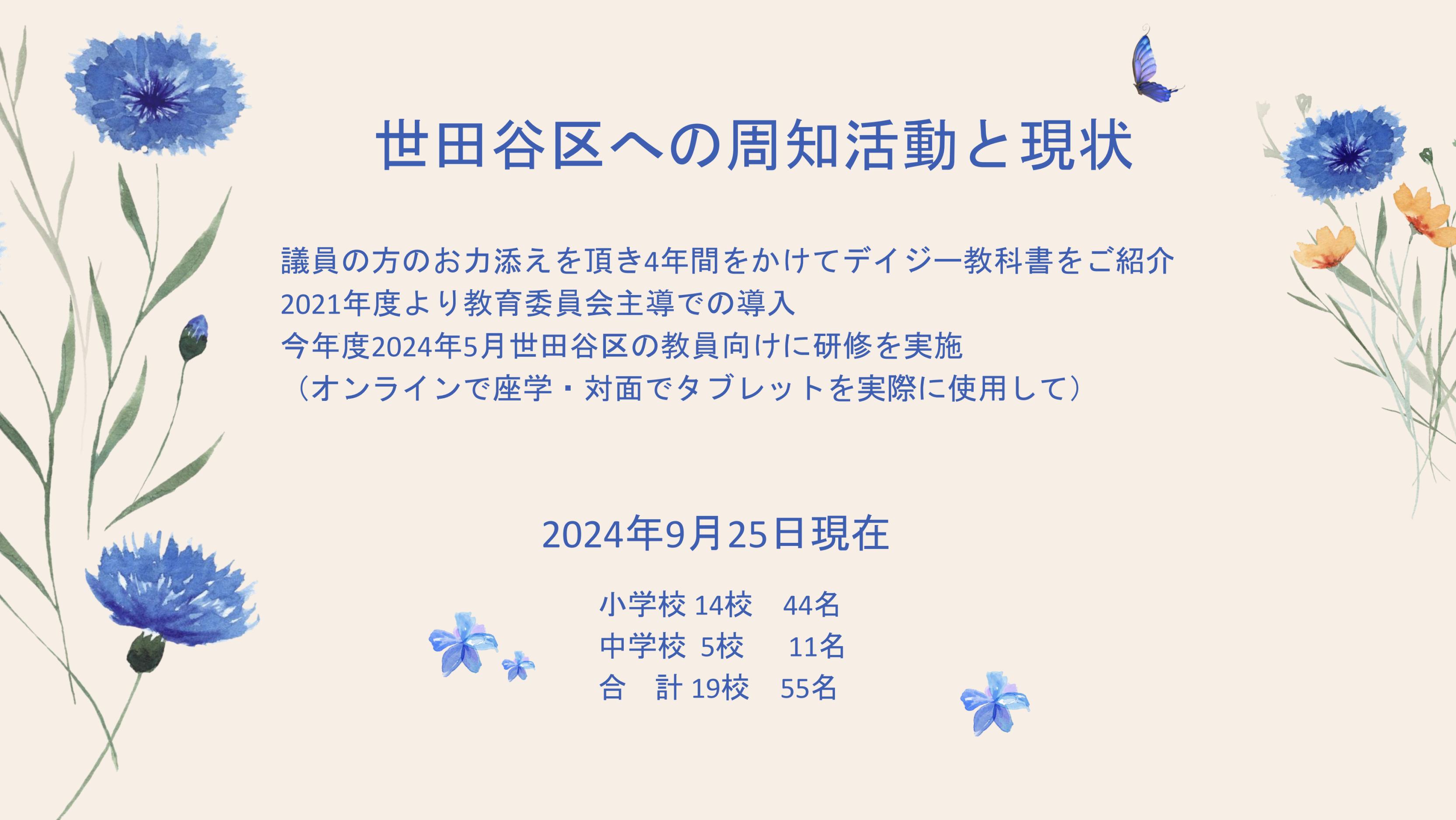
これまでの活動と 世田谷マルチメディアDAISYの会 の発足



- きっかけはNHKのニュース番組を拝見して
- 2010年 パソコンボランティア指導者養成事業研修に参加
(公財) 日本障害者リハビリテーション協会主催
- 2011年 青森デイジーのお手伝い
- 2013年 日本赤十字語学奉仕団にて活動
- 2017年 点字図書館に移籍
- 2018年 4月1日に発足 現在会員数15名

敬称略





世田谷区への周知活動と現状

議員の方のお力添えを頂き4年間をかけてデジタル教科書をご紹介
2021年度より教育委員会主導での導入
今年度2024年5月世田谷区の教員向けに研修を実施
(オンラインで座学・対面でタブレットを実際に使用して)

2024年9月25日現在

小学校	14校	44名
中学校	5校	11名
合計	19校	55名

ボランティアとは

- 活動の自主性、自発性及び創造性が最大限に尊重されなければならない。
- 支援策が国民の自己実現や社会参加への意欲に沿い、これらに寄与するよう行われなければならない。
- 公的サービスでは対応し難い福祉需要について柔軟かつ多様なサービスを提供することが期待される。

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

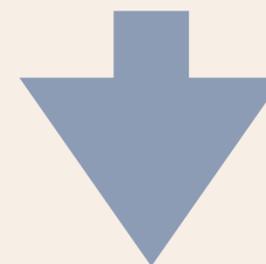
「国民の社会福祉に関する活動への参加の促進を図るための措置に関する基本的な指針」
(平成5年 厚生省告示)



周知活動のために

各メンバーの名前の名刺を作る

- 会のメールアドレスを載せる
- ホームページ等のQRコードを載せる



賛同者も得られる

世田谷マルチメディアDAISYの会



読めるって楽しい!

広報 ○○○○

✉ setamarudaisy@gmail.com



マルチメディアDAISY教科書 製作
(公財)日本障害者リハビリテーション協会
マルチメディアDAISY教科書 製作協力団体

エンジョイ・デイジー
私らしい方法で読む、わかる!



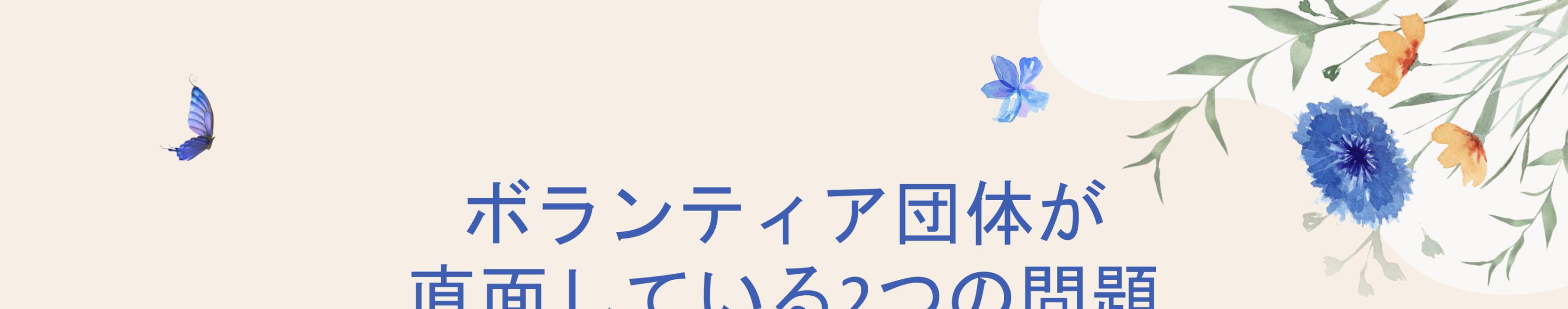
マルチメディアDAISY図書 製作

デイジー子どもゆめ文庫

(テキストデータ・画像・音訳・マルチメディアDAISY化)



マルチメディアDAISY教科書・図書のご利用のお手伝い



ボランティア団体が 直面している2つの問題

01

ボランティア参加者の
高齢化



02

新たな製作者の不足

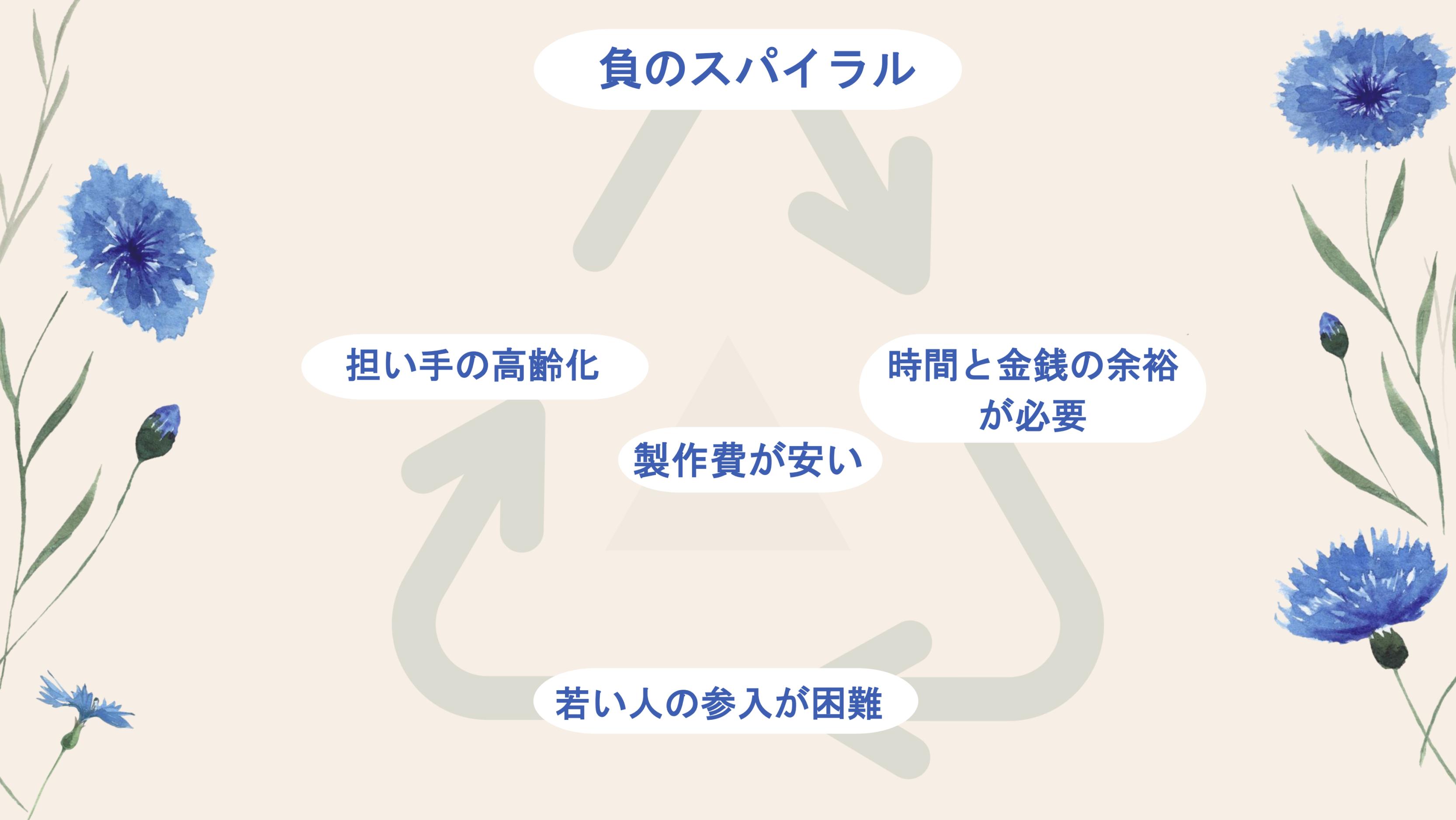
負のスパイラル

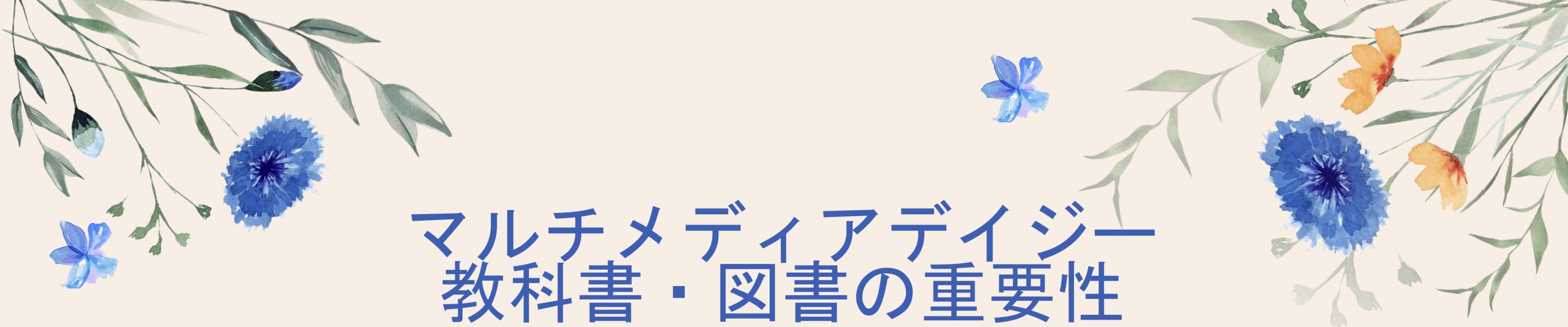
担い手の高齢化

時間と金銭の余裕
が必要

製作費が安い

若い人の参入が困難





マルチメディアデイジー 教科書・図書的重要性

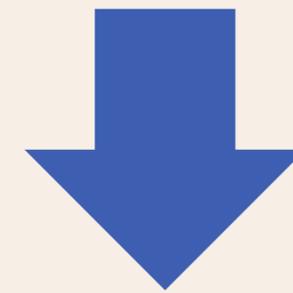
周知活動により
利用者の増加

日本語に通じない
児童生徒も
利用可能
(教科書のみ)
となり
利用者の増加



持続可能なサポートの為に

国または教科書会社や出版社が製作
又は製作費用の適正な金額の拠出



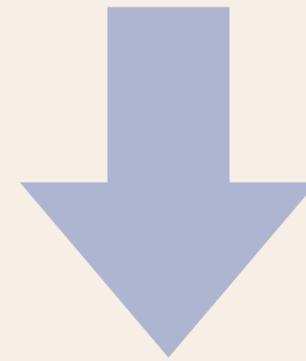
若い人がお仕事として製作に携われる



児童生徒の適正な評価

度の合っていない眼鏡をかけているような状態

時間の延長では疲れてしまう



試験問題のデジタル化が急務



試験問題のデジタル化

Chatty Library

テキストやPDFなどをユーザーが自分でデジタル化できる機能

NPOサイエンス・アクセシビリティ・ネット（敬称略）

<https://chattylib.com/library/>



01

教員が製作

02

教育委員会が製作

03

ボランティア団体が製作

ありがとうございました

<https://sites.google.com/view/setamaru>

